おおさか医科・歯科九条の会
発足７周年記念企画

命を守れ！

おおさか医科・歯科九条の会

3.11福島第一原発事故から2年

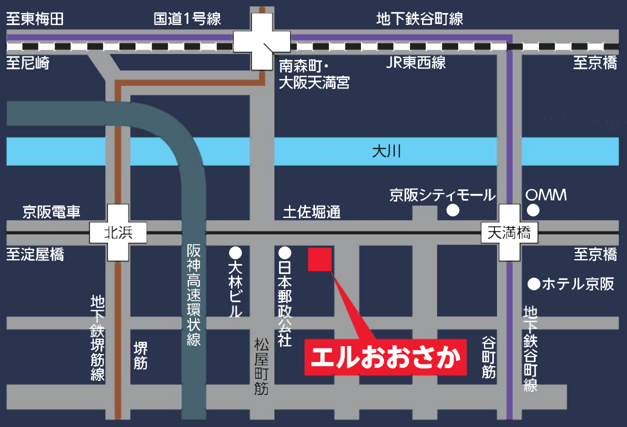
原発と憲法九条を考える
市民公開講演会

2013
3.31 sun 日

定員 800人

13:30～17:00（開場12:30）

エルおおさか・エルシアター



京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m　京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

主催　おおさか医科・歯科九条の会 事務局
〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 大阪府保険医協会内
Tel.06-6568-7721　Fax.06-6568-2389

共催　「九条の会」アピールを支持する医師・医学者の会

facebook アクセスはコチラ！
http://www.facebook.com/osaka1ka4ka9j

小出裕章さんが語る
「原発と憲法九条」

ナターシャ・グジーさん
水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響き

撮影：広河隆一

ナターシャ・グジーさん
Nataliya Gudziy

ウクライナ生まれ。ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドゥーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドゥーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。 公式ホームページ:http://www.office-zirka.com/

小出 裕章さん
Hiroaki Koide

１９４９年東京生まれ。東北大学工学部原子核工学科卒、同大学院修了。１９７４年に京都大学原子炉実験所助教になり現在に至る。専門は放射線計測、原子力施設の工学的安全性の分析。

原子力の平和利用に夢を抱き、原子核工学を専攻。危険な原発を都会に建てず、大都会で使う電気を遠く離れた過疎地で作ることに矛盾を感じ、女川原発の反対運動に関わるようになった。

放射線被害を受ける住民の側に立ち、愛媛伊方原発周辺の海底土の汚染調査、浜岡原発からの使用済み燃料輸送キャスクからの漏えい中性子線測定、チェルノブイリ原発事故による日本、ヨーロッパおよび現地での汚染調査、人形峠旧ウラン鉱山周辺の汚染調査、伊方原発訴訟住民側証人などの活動を続けている。

おおさか医科・歯科九条の会とは

2006年2月26日に発足した、大阪の医師・歯科医師(および医療者)で構成された憲法九条を守る会で、全国に6000以上ある「九条の会」の1つです。

いま、憲法九条と二十五条を改憲し、戦争の出来る国へ変えようという動きが強まっています。

一見、「医療」と「戦争」は結びつかないかもしれません。しかし人命を守ることを使命とする医療者にとって、国民の生存権を規定した憲法二十五条、そして平和の砦である憲法九条を守ることは一体のものです。

わたしたちおおさか医科・歯科九条の会は府民のみなさんと一緒に憲法九条を守り拡げる運動をしています。

おおさか医科・歯科九条の会
〒556-0021
大阪府大阪市浪速区幸町1-2-33
大阪府保険医会館内

おおさか医科・歯科九条の会
発足７周年記念企画

命を守れ!

3.11福島第一原発事故から2年
原発と憲法九条を考える
市民公開講演会

入 場 無 料

program
プログラム

12:30 ― 開場

13:30 ― 開演／主催者挨拶

13:45 ― ナターシャ・グジーさん コンサート

15:00 ― 小出 裕章先生 講演

17:00 ― 閉会

参加申込書 どなたでもお気軽にご参加いただけます

おおさか医科・歯科九条の会 発足7周年記念企画
3.11 福島第一原発事故から2年 原発と憲法九条を考える 市民公開講演会

お名前	医師 ・ 歯科医師 ・ 一般		
電話番号		参加人数	人

参加のお申し込みは FAX 06-6568-2389(医科) FAX 06-6568-0564(歯科) までご返信ください

事前質問 演者への質問がございましたらご記入ください	